



2024年 6月号

発行者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

事務局 人権センター

性の多様性について

皆さんは、LGBTQ という言葉をご存じですか。L はレズビアン(Lesbian)、G はゲイ(Gay)、B はバイセクシャル(Bisexual)、T はトランスジェンダー(Transgender)、Q はクエスチョニング(Questioning)の頭文字です。

レズビアン	恋愛や性の関心が同性に向かう女性のこと
ゲイ	恋愛や性の関心が同性に向かう男性のこと
バイセクシャル	恋愛や性の関心が女性・男性両方に向かう人のこと
トランスジェンダー	自身が認識している性別と、出生時に割り当てられた法律上の性別が一致しない人のこと
クエスチョニング	自分の性のあり方が、自分でもよくわからず、迷っている人や、特に決めたくない人のこと

実は、多様な性で身近な人が悩んでいるかもしれません。自らのことを告白するのは大変勇気のいることです。悩んでいる方から話された場合は、ゆっくり聞いてあげましょう。そして、その発言を否定せず、まずは受け止めることが大切です。それが多様性を認め合う社会への第一歩につながります。

少数であることが理由で、偏見の目を向けられたり、他の人とは違う取扱いを受けるとは、あってはなりません。天理市は、「天理市性の多様性の尊重に関する条例」を2024(令和6)年4月1日に施行しました。多様な性が存在することを一人ひとりが理解し、お互いを認め合い、誰もが「自分らしく」生きることができる社会をめざしていきましょう。

すべての人の多様な性を尊重するために
天理市性の多様性の尊重に関する条例
を制定しました。

すべての人が多様な性を認め合い、人格が尊重される社会の実現を目指して、本市は2024年4月1日に「天理市性の多様性の尊重に関する条例」を施行しました。性の多様性について、一歩ひとりが理解を深め、誰もが自分らしく生かされる社会の実現を目指しましょう。



条例のポイント

- すべての人の性のあり方を認める
性自認、性別などを変えずに、1人ひとりの人として、すべての人の多様な性を尊重するものです。
- カミングアウト(自分の性のあり方を打ち明けること)を強制してはいけません。また、カミングアウトを拒否してはいけません。
- アウトティング(本人の意に反して性のあり方を他人に伝えること)を禁じます。

《パートナーシップ・ファミリーシップ条例等制定と併せて》
パートナーシップ制度(別居カップルが法的に権利を認められず、互いにパートナーとして、日常生活において親身に寄り添うことを目的とした制度であること)を推進し、市がその制度を奨励する経緯です。さらに、法律で、パートナーの置けるよる人への優遇等享受して認められるに制度を併用し、「パートナーシップ制度」を2024年4月1日に導入しました。

天理市 人権センター
電話 0743-85-0130

お問い合わせ先
天理市人権センター
〒670-0192 天理市
人権センター
〒670-0192 天理市



震災等の災害に起因する人権侵害

2024(令和6)年1月1日、新年を祝うおめでたい日に、能登半島沖で大規模な震災が発生しました。被害に遭われた方々に哀悼の意を、また、災害復興に尽力いただいている皆さまには本当に頭の下がる思いです。

今から100年ほど前の1923(大正12)年9月に、関東大震災が発生しました。その際、たくさんの事件が発生しました。そのひとつが2023年に映画化された「福田村事件」です。

関東方面に行商に来ていた一団が、方言で会話をしていたため日本人ではなく外国人と認識されてしまいます。その会話を聞きつけた多数の住民や警察官を巻き込み、大変な騒動になりました。

関東大震災が発生したとき、不正確な情報として「韓国人が反乱を起こした」というデマが出回り、各集落では自警団が結成され、「不穏な行商人には注意せよ」との布告がでていたそうです。そんな中、行商の一団に対しては、警察官が調査を行うと発言したにも関わらず、暴徒と化した住民達によって集団で襲われその大半が殺害されてしまいました。言葉の違い、デマ、正確な情報の伝達が行われなかった等の悲劇が幾重にも重なって、もっと大きな悲劇が生じてしまいました。

先に述べた能登半島沖地震が発生したときでも、実際には日本で発生していない地震や津波の映像を加工し、日本で発生したものとしてSNSなどで発信され拡散されたものがありました。

震災等の大きな災害が発生した場合には、不確かな情報に基づいて、偏見や差別を助長するような言動は、厳に慎まなければなりません。人権侵害にあたるだけではなく、避難することやその後の復興においても差し障りが生じる可能性があります。2011(平成23)年に発生した東日本大震災のとき、放射能のことが取り上げられたのは、記憶に新しいものです。

今後、南海トラフ大地震が発生することが予想されています。正しい情報を正しく伝えることができるよう、災害時こそ我々は冷静で、思いやりをもった行動を心掛けなければなりません。悲しい事件を繰り返さないよう、私たちは歴史からしっかり学ぶ必要があります。

・・・アニマ (ANIMA) とは・・・

ラテン語で生命とか息・魂という意味です。

この人権啓発チラシを見ていただき、人権尊重に向けた取り組みに生命を吹き込みたい思いで名付けました。

